

先月、結成16年以上の漫才師が競うお笑い賞レース「THE SECOND CONDO」漫才トーナメント」にベテラン漫才師の「ザ・ぼんち」が出場していました。

結果は2点差で惜しくも1回戦敗退でしたが、結成54年目で私の生まれる前から漫才を続けているレジェンドが、いまだに挑戦している姿に胸が熱くなりました。

「ザ・ぼんち」の里見まさと師匠は、別のコンビ「里見まさと・亀山房代」でも上方漫才大賞で

⑥0 頑張る大人は
かっこいい！



賞を受賞された努力と才能あふれる方であり、芸人時代に大変お世話になった大先輩です。大学に通いながら芸人をしていた私は「芸人の仕事優先」。大学の試験期間中に舞台の仕事が入れば、試験を放棄するので単位が取れず、大学の退学を考え始めていました。

その状況を知った師匠から、「大学は誰でも行ける場所ではない



勝負続ける大先輩、人生の導き再び

から、大学の試験期間は休みを取ってちゃんと卒業しなさい」とアドバイスをいただきました。芸人を通じて「大学を優先したら、中途半端な人間と思われ、仕事をもらえなくなる」と抵抗しましたが、終始優しい口調で「そんなことで仕事は減ることはない」「もしなんかあれば私に言ってきたさ」と愛のある対応をしていただきました。そして、「大学は芸人を辞めずに続ける」という思いに切り替わりました。

その後は「まさと師匠から聞いてるよ」と担当マネジャーさんになり、スケジュールを調整してもらえようになり、大学を無事卒業することができました。芸人を辞めて小学校教員になった時は「お祝いや！ご飯に行こう」と誘っていた



りました。大学を卒業していなかったら、小学校教員になることはなく、今の私の人生はありません。大学教員になった時は、「直接報告したい」としてもたつてもいられなくなり、師匠が生放送で出演されていたラジオ局で出待ちをして報告させていただきました。直後に舞台があったので、お話しする時間は短かったですが、「おく先生なつた子やな。頑張ってるなあ」とアポなしだったにもかかわらず、立ち止まりお話を聞いていただき、そのまま走り去っていった背中は本当に格好良かったです。その師匠が、30、40代の漫才師とネ

々でガチンコ勝負している姿を見て、心の底から感動しました。



2年前に息子が地方の大学に行き、4月に社会人になった娘も家を出ていきました。子どもたちとの時間が私の生きがいであったので、何もやる気が出ず、目標もなく、ふ抜けになっていました。しかし、今回の「ザ・ぼんち」師匠の全力漫才は大きな刺激になりました。何歳になっても「頑張る大人」の姿はかっこいい！私も負けずに頑張ります！